

## 平成28年度 事業計画

### 1. 基本方針

消費者を取り巻く環境は、国際化、少子高齢化、情報化などの進展によりめまぐるしく変化し、消費者問題は複雑かつ多様化しています。

一方、東北での震災被害から5年、熊本地震という大災害が起きました。自然災害と地球温暖化問題、食の安全・安心、悪質商法被害防止など消費者の日常生活に大きな影響を与える問題が山積しています。

これらの問題を消費者の目で確かめ、消費者市民社会を構築できるよう啓発を行います。消費者自ら社会に応じて適切な行動がとれる能力を育てる消費者教育がこれまで以上に重要性を増してきました。これらの問題に日々のくらしの中でどう対処していくのか、市民の立場で、できるだけ確かな情報を提供していくことで、くらしやすい生活者のまち浜松を構築できるよう活動をすすめていきます。

激動するこれからの時代に即した消費者講座を実施し、すべての立場の人が消費者として自立できるような啓発活動をすすめていきます。

### 2. 重点目標

- (1) 悪質商法や詐欺など、消費者被害の未然防止につとめよう。
- (2) 防災、減災への取り組み、更なる地球温暖化対策の推進に全力で取り組もう。
- (3) 消費者市民社会に向けて、若年者への食育、消費者教育を推進しよう。

### 3. 事業

#### (1) 消費者問題調査研究事業

悪質商法被害防止や、地球温暖化、食の安全、など、消費者の日常生活に大きな影響を与える問題を消費者の目で確かめ、分かりやすく市民に情報提供します。

また、トレー包装実態調査、店舗の環境チェックを継続的に実施することで、ゴミ減量、過大包装、プラ容器包装をしない商品の増加を図ります。

- ① トレー包装実態調査、店舗の環境度チェックを実施(ゴミ減量推進)6月～7月
- ② 「省包装は商品選びから」エコクッキング学習会の開催。啓発紙の作成。
- ③ 河川の水質調査、酸性雨、大気の大気二酸化窒素調査など市内広域で実施。
- ④ 幼児教育、子供向け消費者講座の実施。視察研修の実施。
- ⑤ 高齢者被害防止啓発講座の実施。
- ⑥ 時宜を得たテーマの講演会、研修会、学習会の実施。
- ⑦ ふれあい広場など市内イベントにおける啓発。各種団体との交流啓発。
- ⑧ 地産地消の推進(食と農の応援団)。菓膳、伝統食、味噌作りなど各種学習会。
- ⑨ くらしのアイデアフェアの開催。カレンダーの作成(食と環境)配布。
- ⑩ 啓発紙の発行

#### (2) 消費生活展事業

市の委託事業である消費者問題啓発事業を含め、消費者団体が日ごろの活動や研究の成果を発表するとともに、協賛団体の協力を得て、よりよいくらしのための知識と情報を提供することにより、山積する消費者問題に対応できる、自立した賢い消費者となるよう市民への意識啓発を図ります。

- ① 8月7日 浜名湖ガーデンパーク
- ② 9月11日 可美総合公園
- ③ 11月 ソラモ
- ④ 1月29日 プレ葉ウォーク